

平成29年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋大学動物実験委員会

平成30年8月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 平成 19 年 3 月 12 日 規程第 71 号 (改正：平成 19 年 3 月 28 日 規程第 106 号, 平成 20 年 3 月 31 日 規程第 117 号, 平成 22 年 3 月 16 日 規程第 43 号, 平成 24 年 3 月 21 日 規程第 89 号, 平成 25 年 6 月 18 日 規程第 10 号, 平成 26 年 3 月 26 日 規程第 125 号, 平成 29 年 3 月 7 日 規程第 107 号, 平成 29 年 3 月 30 日 規程第 136 号, 平成 30 年 2 月 20 日規程第 99 号)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。)
「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(文部科学省告示)に基づき機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針
該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・全学動物実験委員会名簿 ・各部局の動物実験委員会規程 ・各部局の動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。)
全学動物実験委員会及び部局動物実験委員会が設置され, 適正に運営されている。
4) 改善の方針
該当しない

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し, 動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが, 一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・各部局の動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。) 動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験, 感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 □ 該当する動物実験の実施体制が定められているが, 一部に改善すべき点がある。 □ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 □ 該当する動物実験は, 行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・名古屋大学組換え DNA 実験規程 ・名古屋大学病原体等安全管理規程 ・名古屋大学安全衛生管理規程 ・名古屋大学化学物質等安全管理規程 ・名古屋大学放射線安全管理規程 ・医学系研究科実験動物部門利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば, 明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当しない

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され, 各施設に実験動物管理者が置かれている)

か?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・ 各部局の動物実験委員会規程 ・ 各部局の飼養保管施設リスト
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 各部局委員会が飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
4) 改善の方針 該当しない

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当しない

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 名古屋大学動物実験委員会議事録 会議開催：1回 (平成29年8月1日) 書面審議：3回 ・ 各部局の動物実験委員会議事録 会議開催：8回 (6部局) 書面審議：78回 (8部局)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程に基づき適正な委員会活動を実施している。
4) 改善の方針 該当しない

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し, 適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各部局委員会から提出された動物実験計画書の審査状況や実施状況の把握に関する資料 ・医学系研究科実験動物部門特殊実験室利用申込書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。) 動物実験計画書の立案, 審査, 承認, 結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当しない。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は, 行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば, 事故記録を対象とする) ・各部局委員会から提出された安全管理上注意を要する動物実験計画の実施状況に関する資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。) 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当しない

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し, 適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

<ul style="list-style-type: none"> ・各飼養保管施設の飼養保管マニュアル ・各部局委員会から提出された飼養保管数に関する資料
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養動物数の大半を占めるマウス・ラットなど齧歯類の実験動物に加え、鳥類や大型哺乳類の飼養保管マニュアルも作成し、全ての施設について飼養保管マニュアルを整備している。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

5. 施設等の維持管理の状況

（機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局委員会から提出された飼養保管施設の設置承認状況に関する資料 ・各部局委員会から提出された動物実験室の設置承認状況に関する資料
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管施設（総数11部局86箇所）や動物実験室は各部局の動物実験委員会により適正に審査承認されている。各部局委員会は承認後3～5年を目処として各施設等の設置状況を確認し、適正な維持管理に努めている。また、平成25年7月に発足した東山キャンパスの名古屋大学動物実験支援センターは順調に稼働している。一方、鶴舞地区の老朽化した動物実験施設については現在、改修・改築に向けた具体的な準備に着手している。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>飼養保管施設の補修や改善の必要性について、今後も継続的に調査を行う。</p>

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学動物実験講習会実施状況 <p>講習会実施回数：29回</p>

<p>(4/5,13,17,21,25,26,28,5/16,17,31,6/7,20,7/6,24,9/6,7,10/2,3,20,11/2,14,12/6,11,1/16,31,2/7,3/7,8 ※4/13については別キャンパスで各々実施)</p> <p>講習会受講者数：460名</p> <p>・名古屋大学動物実験講習会資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。)</p> <p>実験動物管理者, 動物実験実施者, 飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

7. 自己点検・評価, 情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価, 関連事項の情報公開を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し, 適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが, 一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・名古屋大学動物実験委員会のホームページ (http://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/kenkyushien/doubutujikken/)</p> <p>・平成29年度の動物実験に関する自己点検・評価報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば, 明記する。)</p> <p>動物実験に関するより積極的な情報公開を行う事を目的として, 平成27年度より名古屋大学動物実験委員会のホームページを新設し, そこで項目ごとに情報を整理して公開している。なお, 平成29年度の動物実験に関する自己点検・評価結果を本報告書にまとめ, 平成30年8月を目処に名古屋大学のホームページで公開する予定である。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当しない</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において, 機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>1) 名古屋大学動物実験委員会の構成 (別紙1)</p> <p>名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程</p> <p>第8条第1号に掲げる委員：教授9名, 准教授4名, 講師1名</p> <p>第8条第2号に掲げる委員：教授1名</p> <p>第8条第3号に掲げる委員：准教授2名</p>
--

2) 各部局の動物実験委員会の構成

名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程

第16条による部局委員会総数： 9

委員総数：57名（教授27名，准教授16名（うち特任准教授1名），講師4名，
助教9名，技術専門職員1名）

3) 平成29年度の名古屋大学における実験動物種毎の飼養保管数（別紙2）

4) 平成29年度の名古屋大学における動物実験計画書の審査状況と特に注意を要する動物実験の実施状況（別紙3）

動物実験委員会委員名簿

平成 29 年 8 月 1 日現在
(任期：H29. 4. 1～H31. 3. 31)

部 局 名	職 名	役割 (※)	専門分野	備考 (規程)
法 学 研 究 科	教 授	3	法哲学	2 号委員
情 報 学 研 究 科	准教授	1	学習心理学	1 号委員
理 学 研 究 科	教 授	1	分子生物学	1 号委員
医 学 系 研 究 科 (鶴舞地区)	教 授	1	神経遺伝情報学	1 号委員
〃	准教授	2	実験動物学	3 号委員
医 学 系 研 究 科 (大幸地区)	准教授	1	理学療法学	1 号委員
工 学 研 究 科	教 授	1	生物化学工学	1 号委員
生 命 農 学 研 究 科	教 授	1	形態形成学	1 号委員
環 境 学 研 究 科	准教授	1	環境社会学	1 号委員
創 薬 科 学 研 究 科	准教授	1	細胞薬効解析学	1 号委員
環 境 医 学 研 究 所	教 授	1	神経内科学	1 号委員
医 学 部 附 属 病 院	教 授	1	内分泌学	1 号委員
アイソトープ総合センター	講 師	1	超分子機能学	1 号委員
生物機能開発利用研究センター	准教授	1	機能生物化学	1 号委員
細胞生理学研究センター	教 授	1	生物物理学	1 号委員
動物実験支援センター	教 授	2	実験動物学	1 号委員
総合保健体育科学センター	教 授	1	応用健康科学	1 号委員

※役割とは、文部科学省の指針に示された以下のことを示す。

1. 動物実験等に関して優れた識見を有する者
2. 実験動物に関して優れた識見を有する者
3. その他の学識経験を有する者

分類	動物種	情報学	理学	医学	医学(大幸)	工学	農学	創薬	環境医学	未来材料	保体セ	動物セ	合計
哺乳類	マウス	0	204,155	8,669,353	272,876	914	1,097,629	1,834	883,419	243	4,088	1,052,874	12,187,385
	ラット	8,280	0	208,432	18,019	36	181,256	8	12,398	0	1,170	100,060	529,659
	ハムスター	0	0	0	0	0	244,888	0	0	0	0	0	244,888
	モルモット	0	0	359	0	0	0	0	0	0	0	0	359
	モモンガ	0	0	0	0	0	3,285	0	0	0	0	0	3,285
	スンクス	0	0	0	0	0	3,285	0	0	0	0	0	3,285
	ウサギ	0	0	25,234	64	20	730	0	2,158	0	0	0	28,206
	イヌ	0	0	8,762	0	0	0	0	0	0	0	0	8,762
	サル	0	0	284	0	0	0	0	0	0	0	0	284
	マーモセット	0	0	1,640	0	0	0	0	2,190	0	0	0	3,830
	ブタ	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	60
	ヤギ	0	0	0	0	0	32,120	0	0	0	0	0	32,120
	ウシ	0	0	0	0	0	13,140	0	0	0	0	0	13,140
	鳥類	コウモリ	0	0	0	0	0	1,090	0	0	0	0	0
ニワトリ		0	0	0	0	20,110	665,016	0	0	0	0	0	685,126
ニワトリ(ヒヨコ)		0	0	3,888	0	0	0	0	0	0	0	0	3,888
ニワトリ有精卵		0	42,120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,120
ウズラ		0	0	0	0	0	863,710	0	0	0	0	0	863,710
ウズラ有精卵		0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200
キンカチョウ		0	0	0	0	0	21,900	0	0	0	0	0	21,900
は虫類	シマヘビ成体	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	スッポン有精卵	0	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256
両生類	イモリ	0	0	0	0	0	2,934	0	0	0	0	0	2,934
	カエル	0	0	220	0	0	7,637	0	399	0	0	0	8,256
合計		8,280	246,739	8,918,232	290,959	21,080	3,138,620	1,842	900,564	243	5,258	1,152,934	14,684,751

部局	動物実験計画書					注意を要する動物実験計画	
	申請	承認	新規	継続	終了中止#	組換え	その他*
情報学研究科	1	1	0	1	0	0	0
理学研究科	18	18	4	14	9	8	0
医学系研究科	505	505	125	380	108	280	24
医学部保健学科	49	49	15	34	14	9	0
工学研究科	10	10	0	10	0	7	0
生命農学研究科	104	104	29	75	18	17	0
環境学研究科	7	7	6	1	6	0	0
創薬科学研究科	8	8	4	4	1	3	0
環境医学研究所	48	48	10	38	9	23	0
未来材料研究所	1	1	1	0	1	0	0
総合保健体育科学センター	3	3	1	2	0	0	0
動物実験支援センター	4	4	2	2	2	3	0
トランスフォーマティブ生命分子研究所	1	1	0	1	0	1	0
全体	759	759	197	562	168	351	24

終了中止届が提出された全計画書について結果報告書の提出を確認

* P2A実験、ABSL2の感染実験、毒性、発癌実験等